



＝ 栄養教職員部 ＝ 親睦交流会



11月3日、栄養教職員部は、服部緑地公園において、親睦交流会を開催しました。当日は天候に恵まれ、秋晴れの中、にぎやかな楽しい会となりました。

今回、新たに組合に加入した方の参加もありました。職務の相談をはじめ様々な話題があがり、話が尽きず、大変盛りあがりました。

今後も栄養教職員部は、組織強化・拡大に取り組みますので、栄養教職員部への結集をお願いします。

～ こどもたちもニコニコ。ホンワカ気分の日でした ～



＝ 東部支部 ＝ 「伝えたい、ヒロシマ」

11月8日、東部支部は、大阪市教育会館において、「伝えたい、ヒロシマ～市教組青年部フィールドワークをとおして～」の学習会を開催しました。

この学習会は、夏季休業中に実施された「ヒロシマフィールドワーク」で学んだ事を子どもたちに伝えたい、参加できなかった方々にも伝えたいという思いで企画されました。実際に、フィールドワークをもとに実践された小学校・中学校の取り組みの紹介があり、多くの参加者と交流をすることができました。

組合員の希望で実施された「ヒロシマフィールドワーク」、参加者からの実践報告もあり、とても実りある学習会になりました。



… 市教組本部からのお願い … 以下の提出締め切りにご協力ください

- ・障がい児学級設置に関する要求調査 → 12月15日(金)
- ・市教組役員選挙のための有権者確認調査 → 12月22日(金)
- ・2023年度末人事異動に係る自己申告書 → 12月22日(金)

＝ 西部支部 ＝

10月27日、西部支部主催の「ボウリング大会」を心斎橋サンボウルで開催しました。

当日は多くの参加者があり、6レーンに分かれてボウリングを通じて交流を楽しみました。豪快なストライクもあれば珍プレーも多く見られ、参加者はストライクやスパアをとるごとに、用意された「おやつ」を取りに行き、テーブルの上は「おやつ」で一杯になりました。



最後は一球ずつ交代で投げるチーム戦で、各レーンとも大いに盛り上がりました。

「久しぶりにボウリングをしたけれど、すごく楽しかった！」と参加者の声。

終了後は、ハロウィン前の心斎橋で交流を深めました。



今… ボウリングが熱い!!

11月16日、道頓堀ドラゴンボウルで、南部支部青年部と南部地区事務職員部合同でボウリング大会を開催しました。例年は、合同で学習会を行っていますが、コロナが収まりつつある中で、今回は交流をさらに深めていく目的でレクレーションを企画しました。

1ゲーム目は個人戦、2ゲーム目はレーンごとの団体戦を行いました。ほとんどの人が、ボウリングは久しぶりということでしたが、個人戦、団体戦ともに大いに盛り上がりました。



終了後は場所を移動して交流会。順位発表も行われ、さらに盛り上がりました。事務職員部の方と青年部組合員で、初めて顔を合わせる方々も多かったのですが、すぐに会話はずみより良い交流の場となりました。今後も合同企画でレクや学習会を開催していきます。

＝ 南部支部 ＝

広報部メモ

ゴジラの新作が上映されている。来年はゴジラの誕生70周年を迎える。つまり来年で第五福竜丸がビキニで被爆してから70年になるということだ。戦後9年目の第1作は「反戦・反核」の思いがひしひしと伝わる作品だった。さて、今回のゴジラはというと、賛否がいろいろあるようだが、「反戦・反核」という意味では十分伝わってくる秀作だと思う。「政府はいつも隠している」ということは、今福島で行われていることにも通ずる。軍拡が急速に進められている今、どちらも是非みてほしい作品だ。(K)

12月の組合費の引き落としは

12月20日(水)

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけて組合員を増やしましょう!

中央委員会

11月22日、大阪市教育会館にて第413回中央委員会が開催されました。議長に横山中央委員（南部支部）と大園中央委員（西部支部）が選出され、議事が進められました。

執行部より「当面の闘争推進に関する件」の提案後、討論では5人が参加し、議論が盛り上がりました。（討論内容については以下に記載）

採決では、2024年度本部役員選挙において基準投票日を2月16日（金）とすることを含む原案が、圧倒的多数の賛成により可決・承認されました。



弓中央委員（事務職員部） 事務職員部は11月8日、学校事務職員の人事異動の基準等について小委員会交渉を行った。職のさらなる確立や、今年度から全市実施した共同学校事務室の現状と今後の展望について教育委員会の見解を質した。また組織強化・拡大を最重要課題として取り組んでおり、25日には舞洲で「グラウンド・フェスティバル」を開催する。

戸田中央委員（女性部） 11月20日に解放共闘教育部会のジェンダー平等教育交渉に参加。主にLGBTQ当事者の働きにくさやLGBT理解推進法のおかしさについて述べ、「性別思い込みあるある」という教材の紹介もした。府教育庁からは「胸にぐっとくるものがあった。教材はとても児童に合っていて、指導書も分かりやすい。」との答弁があった。



大浦中央委員（栄養教職員部） 栄養教職員部は11月3日、服部緑地公園で親睦交流会を開催。交流会の中で、問題があると何度も話が上がっている民間委託給食業者の現状や、管理職からの評価が異常に低く、3点以下の評価がついたという話を聞いた。今回のような、若い組合員の方でも話しやすい親睦会を開催することの大切さを改めて確認した。

松本中央委員（西部支部） 西部支部は10月27日にボウリング大会を開催した。久しぶりの開催で、参加者からは「集まれてよかった。楽しかった。」という声をいただいた。また、11月18日には南大阪子ども民族音楽会が開催され、民族学級のない学校からの参加もあり、体験民族学級で楽しく学んでいた。今後も民族教育の確立に向け取り組みを続けたい。



山内中央委員（東部支部） 東部支部は11月8日、ヒロシマフィールドワーク報告学習会を開催した。自分と諏訪小分会の大岸さんがFWを受けて、どのような平和教育の実践を行ったかを報告した。また、参加者各校での取り組みについて意見交換ができた。1学期に支部であがった声を本部が受け止めて実現することができました。組合の力を感じました。



11.3 輝け憲法 平和といのちと人権を

11月3日、憲法公布の日に合わせて、扇町公園で憲法集会（おおさか総がかり集会）が開催されました。5000人の市民（主催者発表）とともに、市教組の旗の下に組合員が結集しました。オープニングは長野たかしさん・森川あや子さんによるフォーク・ライブ。



メインスピーチでは、室蘭工大・大学院教授の清末愛沙さんより「人権に基づく平和な社会を！」をテーマに講演がありました。日本国憲法前文が謳う「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」という平和的生存権の実現をめざして、23年間パレスチナの連帯活動をしている。世界で最も人口密度が高い場所の一つとも言われるガザ市に連日のミサイル攻撃。避難することもできず、たくさんの一般市民が死傷している。ガザを人が住むことができない場所にするのがイスラエルの目的である。最後に、「天井のない監獄」と表現され、人や物資の移動がかなり制限されているガザ。停戦が実現しても封鎖が解除されなければ、パレスチナの人々は「欠乏から免れ」られず、平和的生存権は保障されないとまとめられました。

続く市民スピーチでは、ミサイル基地いらない！宮古島住民連絡会代表の清水早子さんから「宮古島・石垣島では戦争が見えてきている」との訴えがありました。7月には石垣島で住民遺体の収容訓練があり、宮古島では遺体収納袋が公民館に配備された。



本気で戦場にするつもりだ。いつでも宮古島からミサイル発射できる状態にある。シェルター設置は住民のため？それとも自衛隊のため？沖縄戦が繰り返される。「戦争を止める取り組みに、立ち上がってください」と呼びかけられました。



立憲民主党の森山さんをはじめ、各政党からのメッセージがあり、終了後は南天満公園まで市民パレード。

最後に市教組で集まって団結ガンバロー！を行いました。

組合豆知識… 「教育祭」って知っていますか？

1934年の室戸台風により、京阪神地方で多数の木造校舎が倒壊し、教職員25人をはじめ600人を超える子どもたちが亡くなるなどの甚大な被害が出ました。教育界は二度とこのような惨事が起こらないことを願って、子ども、教職員を追悼し、その名を永くとどめるため、大阪城公園に教育塔を建設しました。第1回教育祭は1936年10月に執り行われ、室戸台風の犠牲者のみならず、学校教育時間内において不慮の災厄で死亡した児童・生徒・学生を慰藉することになりました。戦争に入り、国威発揚に利用された歴史もあります。1948年からは日教組が塔の維持・管理と教育祭の主催を受け継ぎ、「平和を守り、命を大切にする祭典」として改革をすすめてきました。毎年、10月の最終日曜日に、志半ばにて命を落とされた教職員、児童生徒、教育関係者が合葬されています。